



Destination Sustainability Report 2024

岩手県釜石市



1. 釜石市における持続可能な観光の推進



釜石市は、旅行者の意識の変化や国の政策の展開に先駆けて、持続可能な観光の考え方を自治体計画に取り入れて推進して参りました。

きっかけは、震災から6年が経過した2017年に、東日本大震災で大きな被害を受けた被災地域の早期復興と新しい地域づくり（観光地域づくり）を具体化する指針をとりまとめた「釜石市観光振興ビジョン」を策定したことに始まります。

「釜石市観光振興ビジョン」では、観光を通じた震災復興の実現を目指し、以下の目標を掲げております。

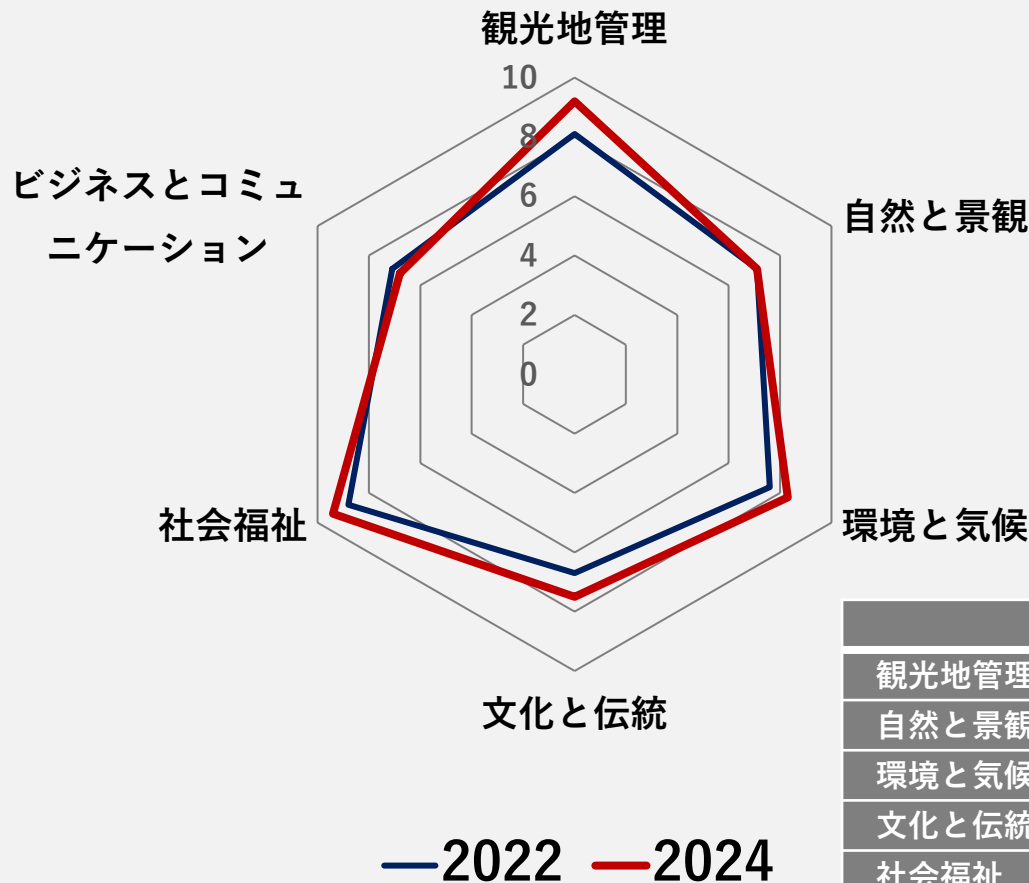
- ・市民が観光を通じて釜石市に住まう誇りを取り戻す。
- ・人と人とのつながりを生み出し移住者の増加を目指す。
- ・上記を支援する滞在交流型観光システムを創る。

そして、釜石市全体を屋根のない博物館と見立てた釜石オープン・フィールド・ミュージアムというコンセプトを掲げました。これは、釜石市民の観光地域づくりへの参加性を高めて一体感を醸成し、「地域の宝」を再発見する過程を通して、釜石市民の誇りを醸成することを目指す観光地域づくりの考え方です。施策の適正な進捗を評価する為の業績評価指標（KPI）には、経済指標だけでなく、市民意識指標として「誇りを持つ市民の割合」や「人を呼び込もうとする市民の割合」が設定されております。

この「釜石市観光振興ビジョン」において目指す姿を実現するため、方針の一つとして、持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の活用を挙げております。その具体的な手法として、国際基準の管理評価指標を導入し、日本国内で第一号となる持続可能な観光の国際認証（グリーン・デスティネーションズ・アワード、2018年ブロンズ賞）の取得することができました。

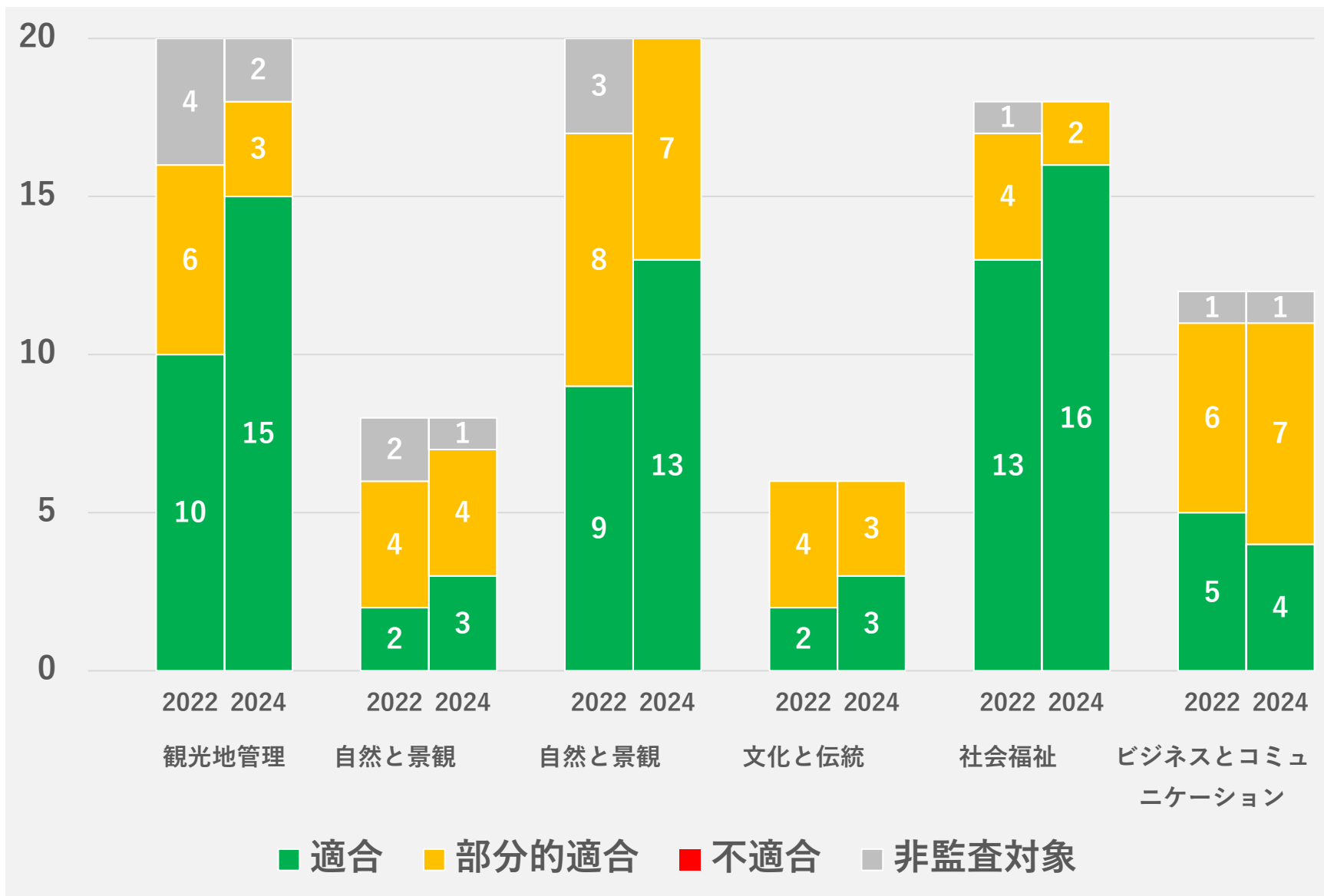
「環境」「社会」「経済」のバランスが取れた観光振興を図りながら、同時に、国内外からの釜石市への関心を高めることを目指します。

2. グリーン・デスティネーションズ・アワード2024 スコア概要



	2021	2024
観光地管理	8.1	9.2
自然と景観	7.1	7.1
環境と気候	7.6	8.3
文化と伝統	6.7	7.5
社会福祉	8.8	9.4
ビジネスとコミュニケーション	7.1	6.8
Total	7.6	8.1
アワード	シルバー	ゴールド

3. スコア詳細



4. 2022年審査後の取組み例

課題/部分的適合

1.12 来訪者による圧力の管理

繁忙期以外の閑散期と中間期を盛り上げられる綿密な戦略が必要である。
季節性が考慮されていないようにも見えるため、シーズンリティの変動に対抗するための戦略を文書化すべきである。

3.18 効果的なカーボンオフセット

広く宣伝し、観光ウェブサイトにも掲載すべきである。実験的なオンサイト計算機では、重要な部分であるフライトがまだ考慮されていない。

5.14 観光産業における地元雇用の促進

釜石市が持続可能性へ高めるための新たなプロジェクトに対応できる地元の人材が不足している。

実施した取組

1.12 来訪者による圧力の管理

毎年実施している観光来訪調査を分析し、ピークシーズとオフシーズンの差が顕著であることを定量的に把握。
平準化を図るため、オフシーズンの冬季に楽しめるコンテンツをプログラム化して、来訪客の平準化を図ることを文書化。

3.18 効果的なカーボンオフセット

『釜石版ブルカーボン・オフセット制度』を創設し、主に首都圏からの来訪者にブルカーボンクレジットを販売することで、旅行におけるCO2排出量をオフセットした。また、CO2排出量の計算に、飛行機を加えるなど、より詳細に計算できるように工夫した。

5.14 観光産業における地元雇用の促進

DMOは、観光産業に対する地元人材の雇用に向け、地域の商業高校に対する観光教育の実施に向け、行政および地域事業者をメンバーとした協議会を設立し、商業高校に対して、観光を伝えるプログラムを実施した。

5. Next Actions (サステナビリティ向上の取組)

§1 観光地管理

1.14 配慮が必要な場所における 来訪者の行動

来訪者への観光時注意喚起を促すガイドラインはあるものの、現地での入手が主になっており、周知が十分とは言えない。

⇒インターネット上で入手可能であることをホームページ等に、わかりやすく明示する。

§2 自然と景観

2.4 侵略的外来種

外来種に関する研修は行われたものの、外来種を根絶するような対処法は不明確である。

⇒来訪者がプログラムに参加することで、楽しみながら外来種駆除も行い、景観保護にも寄与できるような自然プログラムを造成する。

§3 環境と気候

3.20 気候変動情報

住民、観光事業者、観光客への情報発信方法が不明確

⇒釜石市は脱炭素先行地域に選出されたことも受け、観光面だけでなく、生活面の気候変動の情報を積極的に発信し、住民、事業者、来訪者の意識醸成を図る。

§4 文化と伝統

4.2 観光による文化への影響の管理

人為的な影響も含め、文化財に対する観光の影響分析が行われていない。

⇒釜石市担当課と共に、観光による文化財の影響の継続的なモニタリング実施に向け、検討中。

§5 社会福祉

5.15 オーバーツーリズムの回避

現時点では、オーバーツーリズムは見られないものの、交通渋滞など観光による社会的調査を確認し、対策を検討していく必要がある。

⇒インバウンドの増加によるオーバーツーリズムの懸念や、ラグビーイベントの開催等による混雑は予想されるため、対策を検討していく。

§6 ビジネスとコミュニケーション

6.3 認証企業の公表

持続可能性を有する観光事業者のリストがない。

⇒DMOが運営する根浜キャンプ場がキャンプ場として初の「グリーンキー」（宿泊施設に対する認証）を取得した。この取組をアピールしていき、市内の観光事業者のサステナビリティ意識の向上を図る。

Appendix (2024監査結果①)

§ 1 観光地管理		
No	テーマ	監査
1.1	サステナビリティ・コーディネーター	○
1.2	管理組織	○
1.3	コーディネーター及びチームの研修	○
1.4	ステークホルダーの関与	○
1.5	観光資源のリストアップ	○
1.6	観光影響評価	○
1.7	観光地管理の方針・戦略	○
1.8	行動計画（アクションプラン）	○
1.9	計画の透明性及び実施	○
1.10	計画の透明性及び実施	△
1.11	来訪者の満足度	△
1.12	来訪者による圧力の管理	○
1.13	観光地の資産のための来訪者管理	○
1.14	配慮が必要な場所における来訪者の行動	△
1.15	持続可能性の指標とモニタリング	○
1.16	見直しと評価	○
1.17	サステナビリティレポートの公開	○
1.18	認証に対する苦情	—
1.19	倫理規定と汚職	○
1.20	公正な競争と責任ある公共調達	—

§ 2 自然と景観		
No	テーマ	監査
2.1	自然保全	○
2.2	観光が自然に与える影響	△
2.3	天然資源の保護	—
2.4	侵略的外来種	△
2.5	風景と景観	○
2.6	野生生物の保護	△
2.7	自然や野生生物との交流	△
2.8	飼育動物の福祉	○

§ 3 環境と気候		
No	テーマ	監査
3.1	騒音	○
3.2	光害	△
3.3	土地利用と計画	△
3.4	水資源の調達	○
3.5	水使用量の削減	—
3.6	水質の監視と対応	○
3.7	廃水処理	○
3.8	固形廃棄物の減量	○
3.9	廃棄物の分別とリサイクル	○
3.10	廃棄物処理	○
3.11	ゴミのポイ捨て	—
3.12	温室効果ガスの排出量と気候変動緩和の取り組み	△
3.13	旅行による排出量の削減	△
3.14	低インパクトのモビリティ	○
3.15	公共交通機関	△
3.16	エネルギー消費量の削減	△
3.17	再生可能エネルギー	○
3.18	効果的なカーボン補償	○
3.19	気候変動リスクへの対応	○
3.20	気候変動の情報	△

Appendix (2024監査結果②)

§ 4 文化と伝統		
No	テーマ	監査
4.1	有形文化遺産	○
4.2	観光による文化への影響の管理	△
4.3	文化的な遺物の保護	△
4.4	無形遺産	△
4.5	真正性の尊重	○
4.6	先住民の知的財産	○

§ 5 社会福祉		
No	テーマ	監査
5.1	再定住	○
5.2	資源の所有権と利用券	○
5.3	伝統的なアクセス権	○
5.4	人権	○
5.5	人権に関する法律の公開	○
5.6	アクセシビリティ	○
5.7	計画への地域住民の参加	○
5.8	住民参加とフィードバック	○
5.9	ステークホルダーの貢献	○
5.10	住民の満足度	○
5.11	経済効果のモニタリング	○
5.12	地元企業の支援	○
5.13	地域の特産品や特色あるサービスの奨励	○
5.14	観光産業における地元雇用の促進	○
5.15	オーバーツーリズムの回避	△
5.16	不動産開発	○
5.17	健康と安全	△
5.18	リスクと危機管理	○

§ 6 ビジネスとコミュニケーション		
No	テーマ	監査
6.1	事業者における持続可能性の促進	△
6.2	持続可能性の基準	○
6.3	認定事業者の公表	△
6.4	水使用量（企業）	△
6.5	固形廃棄物（企業）	△
6.6	エネルギー消費量（企業）	△
6.7	温室効果ガス排出量（企業）	△
6.8	均等で公平な雇用（企業）	○
6.9	アクティビティ提供者の実践規範	—
6.10	敬意と正確さを持ったプロモーション	○
6.11	訪問者への持続可能性の情報	△
6.12	解説情報	○



世界の持続可能な観光地100選

2024 Green Destinations Top 100 Stories

岩手県釜石市



観光教育推進による地元への愛着醸成 Fostering Attachment to the Local Community Through Promotion of Tourism Education

【カテゴリー】
Thriving
Communities

(概要)

釜石は、2011年の東日本大震災から復興を続けているものの、人口減少に伴い、産業の担い手不足が深刻な問題である。また、若い世代を中心に、地域の産業や魅力を知る機会が少なく、地元に対する愛着の低下が課題となっている。

このような中、釜石は、地域の魅力や産業の未来を学ぶ観光教育を地元学生に対し実施した。

観光教育推進の中心的な役割を担うDMOは、地域の各産業のキーマンをメンバーとするネットワークを構築するほか、地域産業をテーマとした観光教育プログラムを設計・実施し、学生の地元への就職といったキャリア形成を考えるきっかけを創出した。

この釜石の観光教育の推進は、日本国の観光庁により評価され、日本における3つのモデル地域のひとつに選出された。さらに、学生の地域に対する愛着は高まり、地元に対して行動する意識も高まった。

